

2022年12月期 第3四半期決算説明資料

STOCK CODE : 3695

GMO RESEARCH

代表取締役社長 細川 慎一
取締役グローバルCFO 森 勇憲

2022年11月7日

目次

1. 結論と要約
2. 決算概要
3. 事業の概況

Appendix

1. 結論と要約

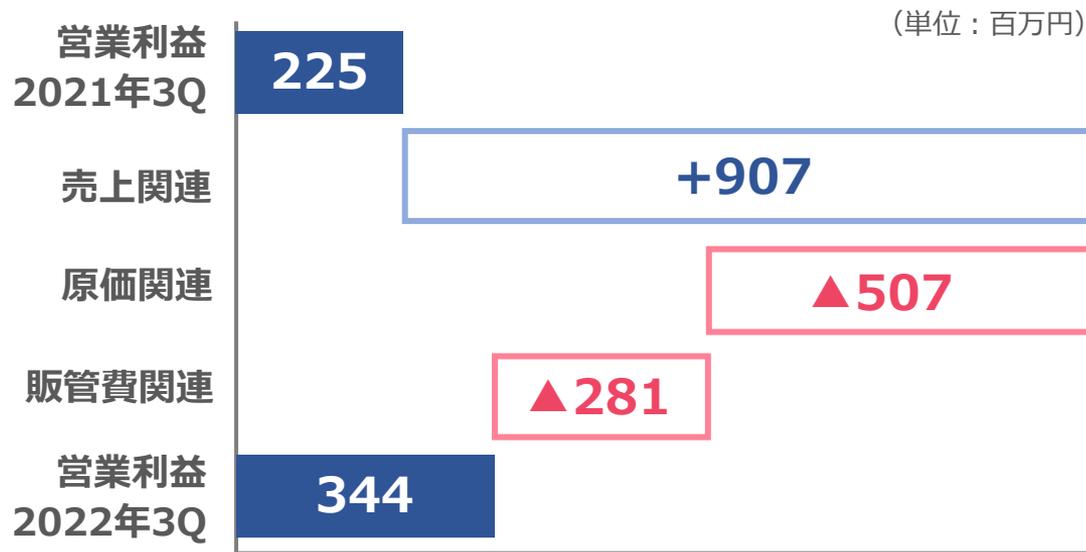
結論と要約 | 決算サマリー

- 売上高及びすべての段階利益について**3Q累計・単独期間最高業績**を達成
- 売上高は前年同期比+31%。アウトソーシング/D.I.Y.サービス、国内/海外の**全カテゴリ**において**3Q累計・単独期間最高売上**を達成。

(単位: 百万円)	2021 (1-9月)	2022 (1-9月)	増減額	増減率	
売上高	2,864	3,771	+907	+31.7%	3Q累計/単独 過去最高
営業利益	225	344	+118	+52.4%	3Q累計/単独 過去最高
経常利益	253	430	+176	+69.7%	3Q累計/単独 過去最高
最終利益	175	318	+142	+81.4%	3Q累計/単独 過去最高

結論と要約 | 営業利益推移

- 調査案件の増加により粗利は前年同期比+400百万円 (+29%)
- 販管費は前年同期比+281百万円、営業利益は前年同期比+118百万円



主な増減要因

・売上関連

調査案件が堅調に成長

・原価関連

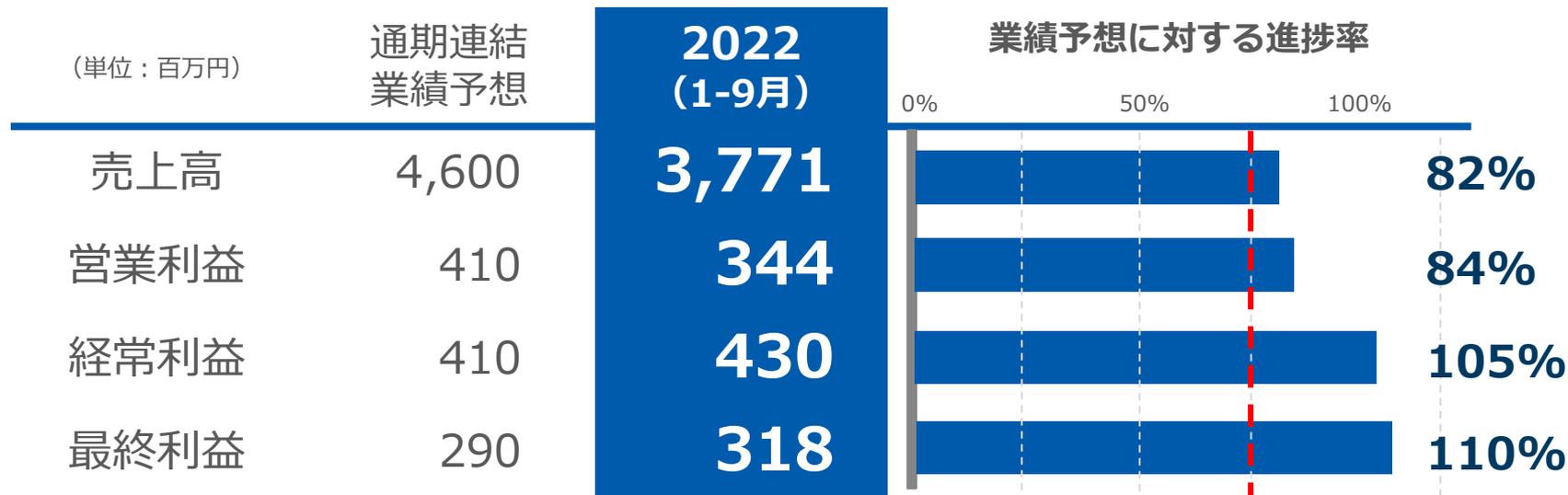
調査案件の増加に伴う増加。一部高原価案件もあり、原価率は1%増。

・販管費関連

人件費、広告宣伝費等の増加

結論と要約 | 連結業績予想に対する進捗

- 通期連結業績予想に対し、売上高および各段階利益ともに順調に進捗
- 第3四半期までの進捗率及び第4四半期の見通しにもとづき、当初の連結業績予想を修正いたしました（次ページ参照）。



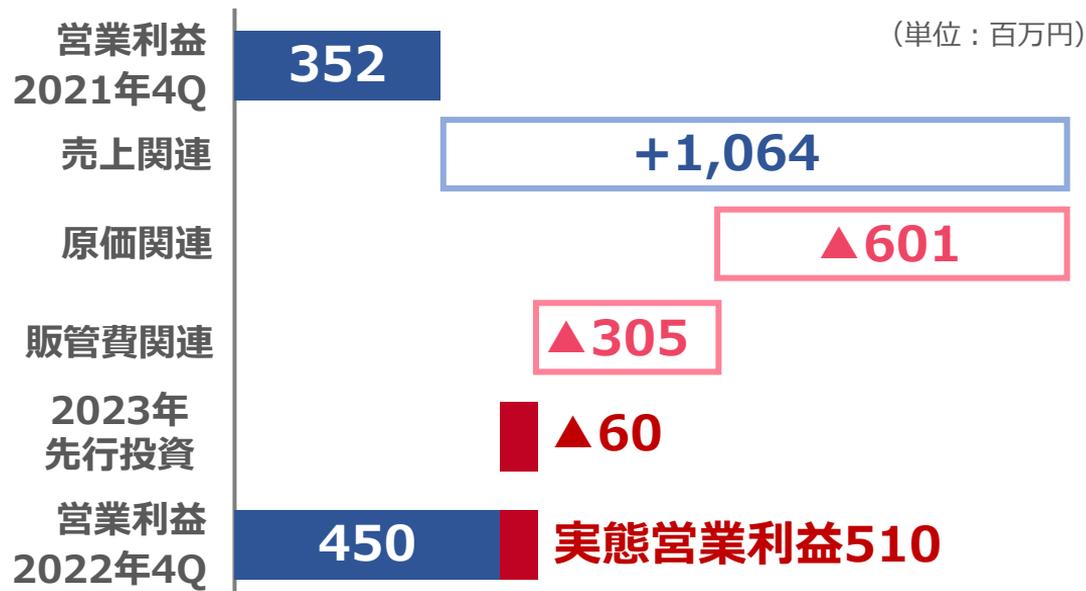
結論と要約 | 連結業績予想/配当予想の修正

- 2022年度の連結業績予想及び配当予想の修正値は下記のとおりです
- 前期実績比で売上高1,064百万円増(26%増)、最終利益106百万円増(39%増)、1株あたり年間配当額は39%増の116.43円へと修正いたしました。

(単位：百万円)	2021年度実績	2022年度 当初業績予想	2022年度 修正業績予想	対前期実績 増減	対前期実績 増減率	対当初予想 変動額	対当初予想 変動率
売上高	4,086	4,600	5,150	+1,064	+26.0%	+550	+12.0%
営業利益	352	410	450	+98	+27.6%	+40	+9.8%
経常利益	385	410	520	+135	+35.0%	+110	+26.8%
最終利益	274	290	380	+106	+38.7%	+90	+31.0%
1株当たり 当期純利益(円)	168.03	177.71	232.87	—	—	—	—
総配当性向(%)	50.0%	50.0%	50.0%	—	—	—	—
1株当たり 年間配当額(円)	83.97	88.85	116.43	+32.46	+38.7%	+27.58	+31.0%

結論と要約 | 着地見込み営業利益推移

- 営業利益は前期比98百万円増(28%増)の450百万円で着地見込み
- 2023年に向けた先行投資（一時費用）約60百万円を除いた実態営業利益は510百万円



- ・ 2023年先行投資の内容
広告宣伝費・販促費
サービス開発
研修・トレーニング費用
オフィスレイアウト変更

2. 決算概要

決算概要 | 連結損益計算書

(単位：百万円)	2021年 1-9月	2022年 1-9月	前期比
売上高	2,864	3,771	131.7%
売上原価	1,483	1,991	134.2%
売上総利益	1,380	1,780	129.0%
（売上総利益率）	48.2%	47.2%	▲1.0pt
販売費及び一般管理費	1,154	1,436	124.4%
（販管費率）	40.3%	38.1%	▲2.2pt
営業利益	225	344	152.4%
（営業利益率）	7.9%	9.1%	+1.2pt
経常利益	253	430	169.7%
当期純利益	175	318	181.4%

決算概要 | 連結貸借対照表

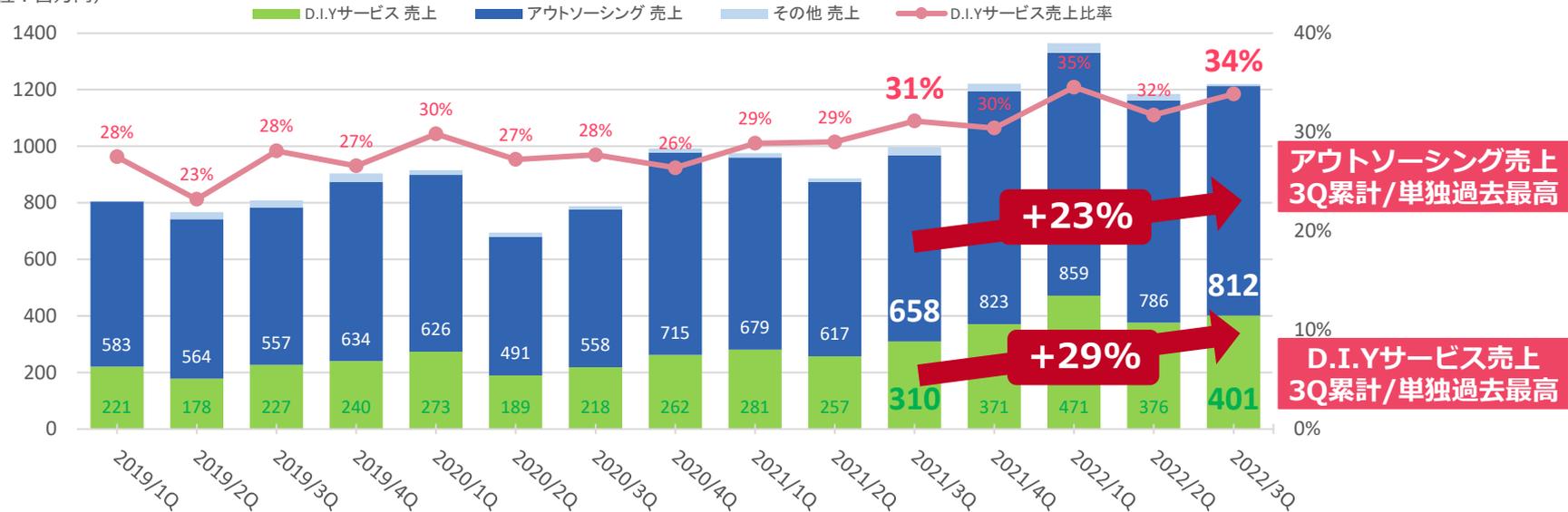
(単位：百万円)	2021年12月末	2022年9月末	前期末比
流動資産	2,358	2,453	104.0%
現金及び現金同等物	1,264	1,445	114.3%
固定資産	441	487	110.3%
資産合計	2,799	2,940	105.0%
流動負債	1,107	1,030	93.0%
固定負債	15	15	99.0%
負債合計	1,123	1,045	93.1%
純資産	1,676	1,894	113.0%
(純資産比率)	59.9%	64.4%	+4.5Pt

3. 事業の概況

事業の概況 | サービス別売上高推移

- アウトソーシング対前3Q+23%(+153百万円)、3Q単独期間過去最高売上
- D.I.Yサービス対前3Q+29%(+90百万円)、3Q単独期間過去最高売上
- D.I.Yサービスの売上高構成比は34%に（前3Q比+2.7%増）

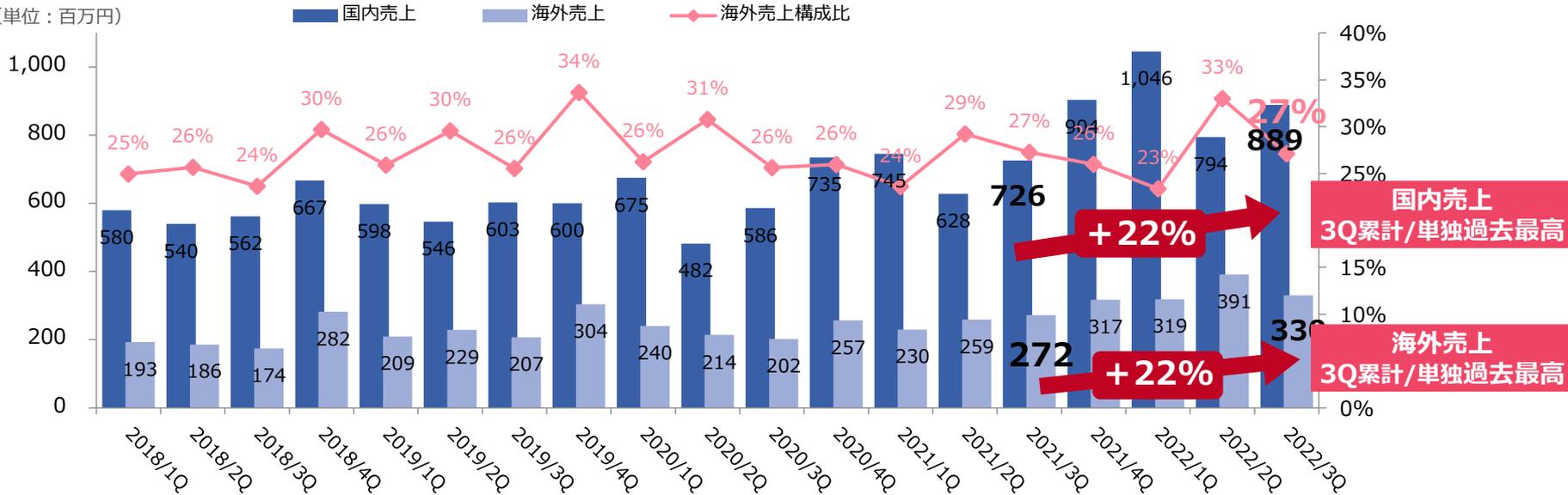
(単位：百万円)



事業の概況 | 国内・海外売上高推移

- 前3Q比で、国内売上+22%(+163百万円)、海外売上+22%(+58百万円)
- 国内売上・海外売上ともに3Q単独期間過去最高売上
- 海外売上高は為替円安影響により、3Q累計期間で対前年15%程度上振れ

(単位：百万円)



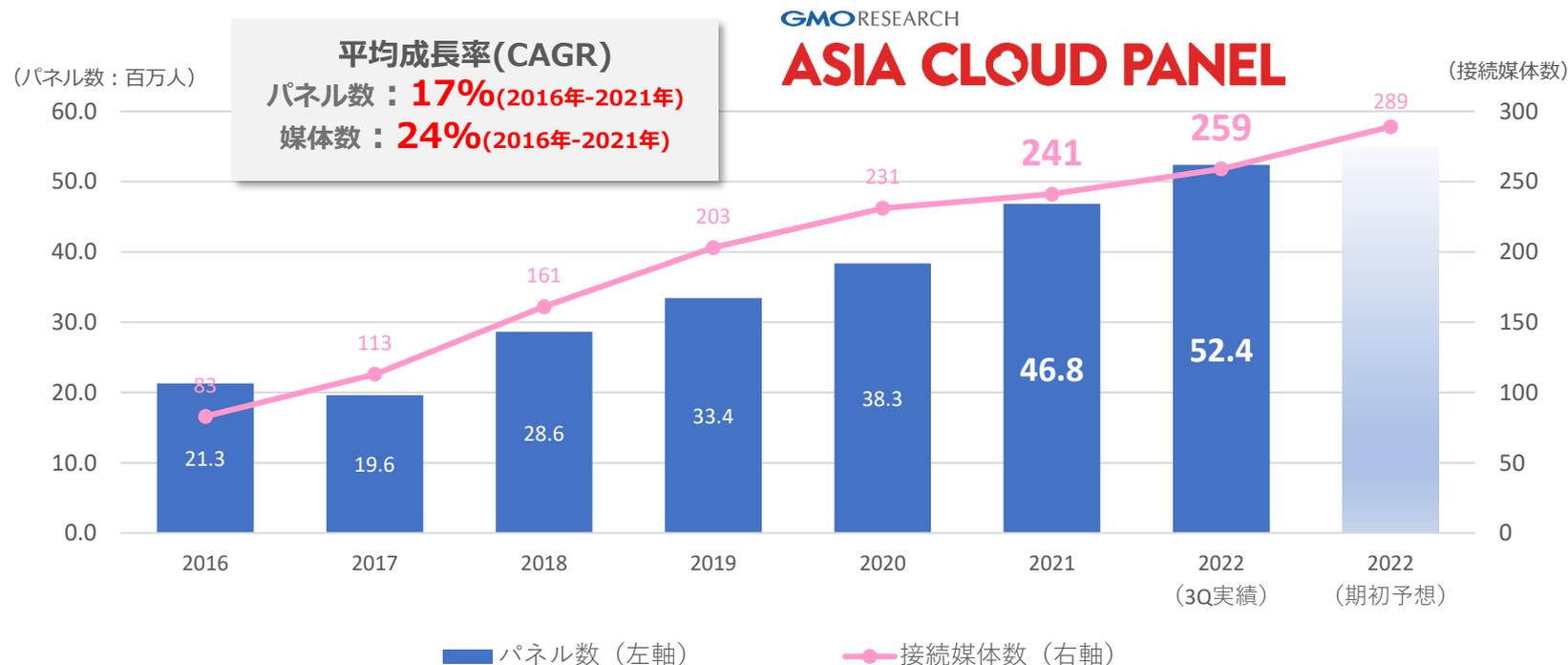
事業の概況 | Audience Engagement Platform

Audience Engagement Platform



事業の概況 | ①パネルサイドAPI接続数

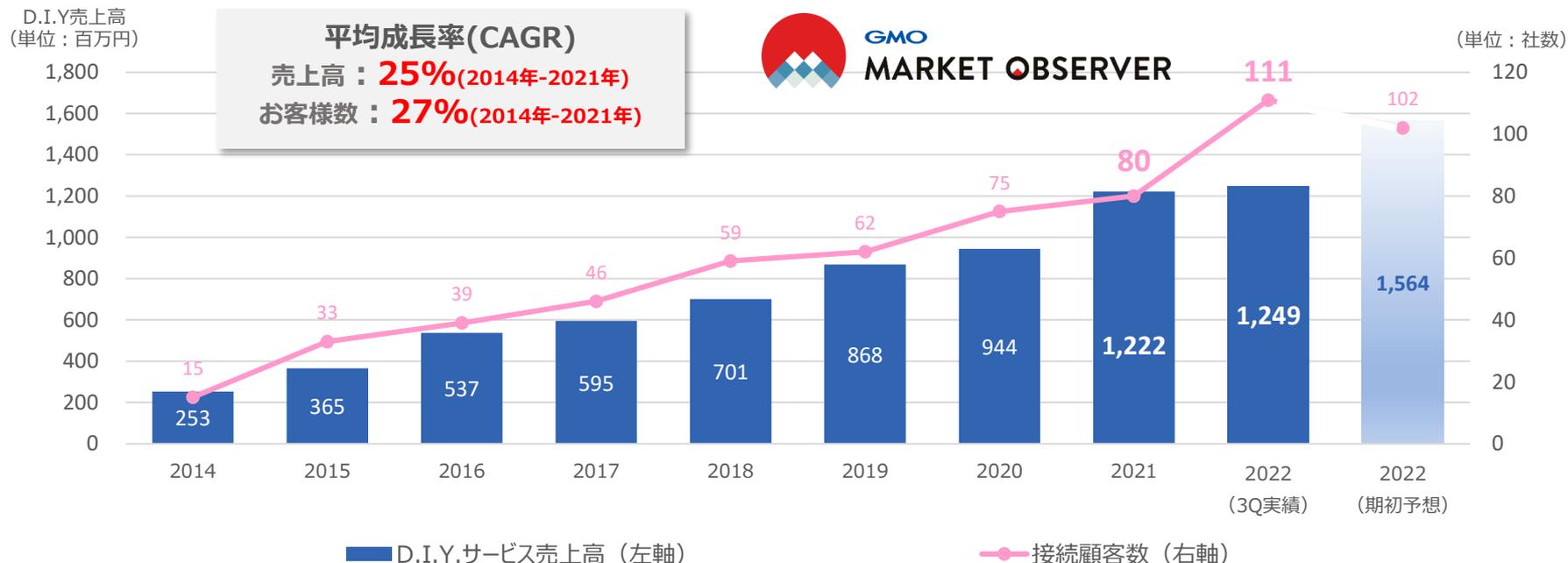
- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルは、アジア16の国と地域で5,235万人超となり、API接続媒体数は259へ増加しています。



事業の概況 | ②顧客サイドAPI接続数

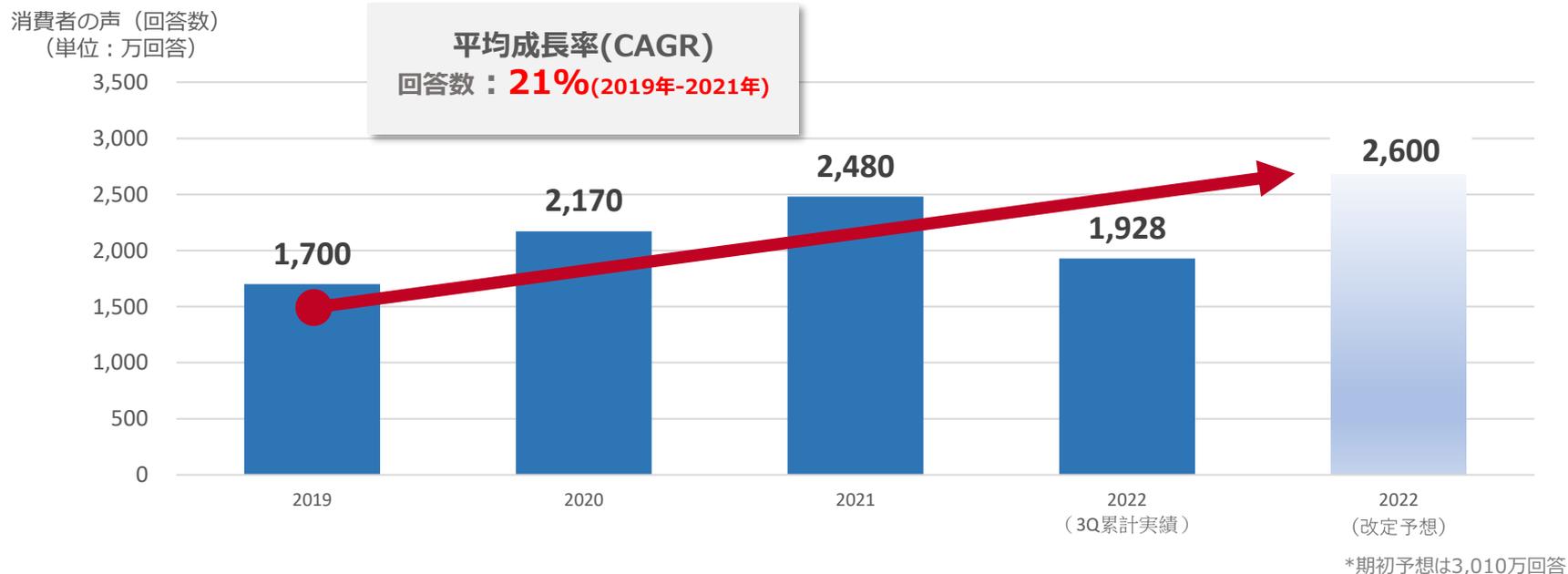
- アジアクラウドパネルへ接続している顧客数(*1)及びD.I.Yサービス売上高は順調に増加しております。

(*1) アジアクラウドパネルへAPI接続している顧客及び当社Market Observerを利用する顧客



事業の概況 | ③消費者の声（回答数）

- 案件構成の変化、すなわち希少価値の高い消費者の声を集める案件の増加により、回答数の伸びが抑えられた一方で、販売単価は上昇し、売上高の順調な成長につながりました。期初予想3,010万回答に対し、当期着地見込みは2,600万回答を想定しております。



事業の概況 | D.I.Yサービス売上のストック性

- D.I.Yサービスを利用する顧客の継続率は高く、1社あたり売上高も高水準で推移します。

	D.I.Yサービス	アウトソーシングサービス
顧客継続率* ₁	83%	49%
1社あたり平均売上高* ₂	1,395万円	604万円

*1：顧客が次年度にリピート発注する割合の平均値（2019年以降）

*2：1社あたり年間売上高の平均値（2019年以降）

直近の主なリリース

日付	タイトル	URL
2021/8/5	オンラインインタビューサービス「MO Insights byGMO」でビジネス領域のインタビューに特化した「MOビジネスインタビューパネル」を無料提供開始	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210805
2021/8/23	事業計画及び成長可能性に関する説明資料	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210819488026_P01_.pdf
2021/8/23	新市場区分「グロス市場」選択に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210819488046_P01_.pdf
2021/9/6	Googleフォームの分析が「Market Observer byGMO」で無料利用可能に	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210818487665_P01_.pdf
2021/11/18	2021年11月18日オンラインインタビューサービス「MO Lite インタビュー byGMO」で さらにお得な定額チケット制『パウチャープラン』を本日より提供開始	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20211117437797_P01_.pdf
2021/11/29	GMOリサーチと東芝データ、購入実績を起点とした調査データの活用に向けた協業を開始	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20211126442390_P01_.pdf
2021/12/20	米国法人設立に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20211217454928_P01_.pdf
2022/4/7	「Tableau」によるデータ可視化サービスの提供を開始 直感的なビジュアルでスピーディーなデータ分析を実現	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20220407
2022/6/20	GMOリサーチが6番目のグローバル拠点となる米国法人“GMO-Z.com Research USA, Inc.”の営業を開始～イノベーションが加速する米国で企業と社会をつなぐプラットフォームの普及を推進～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20220620
2022/8/23	連結子会社の商号変更に関するお知らせ（シンガポール法人）	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20220822522733_P01_.pdf
2022/8/23	連結子会社の商号変更に関するお知らせ（マレーシア法人）	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20220822522734_P01_.pdf
2022/9/15	発注からアンケート完了までをオンライン上で完結 1問1回答10円からの完全DIY型アンケート調査ツール「GMO Ask(アスク)」提供開始	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20220915
2022/10/25	アンケートパネルサイト「Z.com Research」を シンガポールにおいて新たにオープン ～東南アジアをリードするシンガポールの消費者向け調査を拡大～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20221025

Appendix

- 2022年事業戦略
- 当社のフィロソフィー
- ビジネスモデル
- サービス別販売先・サービス内容
- アウトソーシングサービスとD.I.Y.サービス
- パネルネットワーク
- 各拠点人員数推移

2022年事業戦略 | 世界リサーチ市場

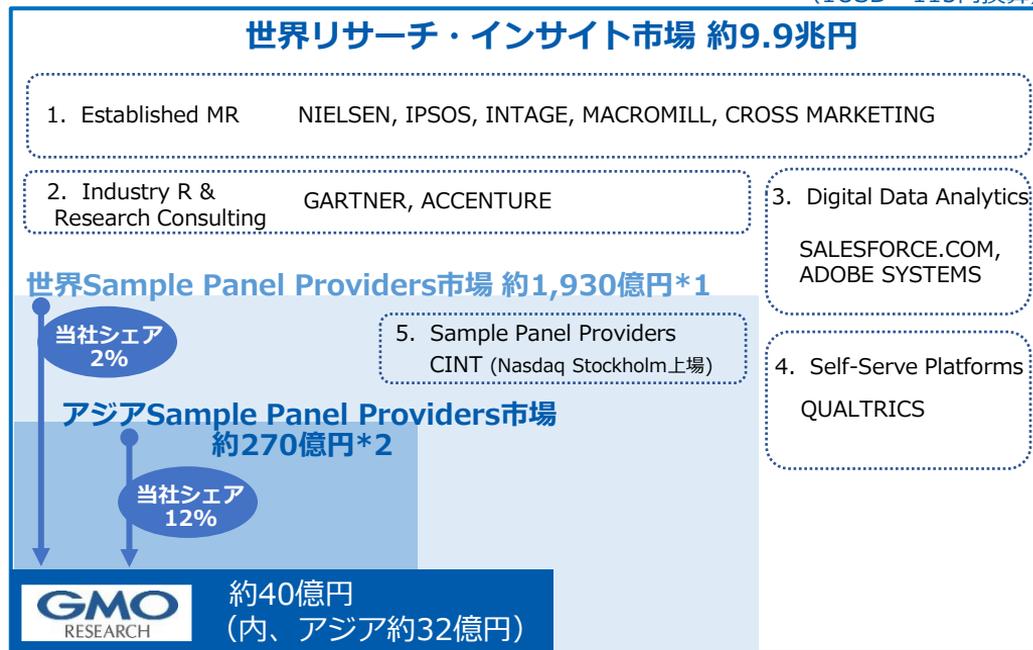
- サンプルパネル提供市場は成長しており、その**アジア市場の成長率は7.3%**

(単位：百万ドル)

市場区分	2019	2020	成長率
1. Established Market Research	35,356	33,553	-5.1%
2. Industry Report & Research Consulting	24,636	24,843	0.8%
3. Digital Data Analytics, Feedback Management, etc	22,548	24,513	8.7%
4. Self-Serve Platforms	1,485	1,929	29.9%
5. Sample Panel Providers	1,530	1,676	9.5%
Total	85,554	86,513	1.1%

	欧米	アジア	その他
2020年市場規模	1,279	233	164
2021年成長予想	1.6%	7.3%	5.9%

(1USD = 115円換算)

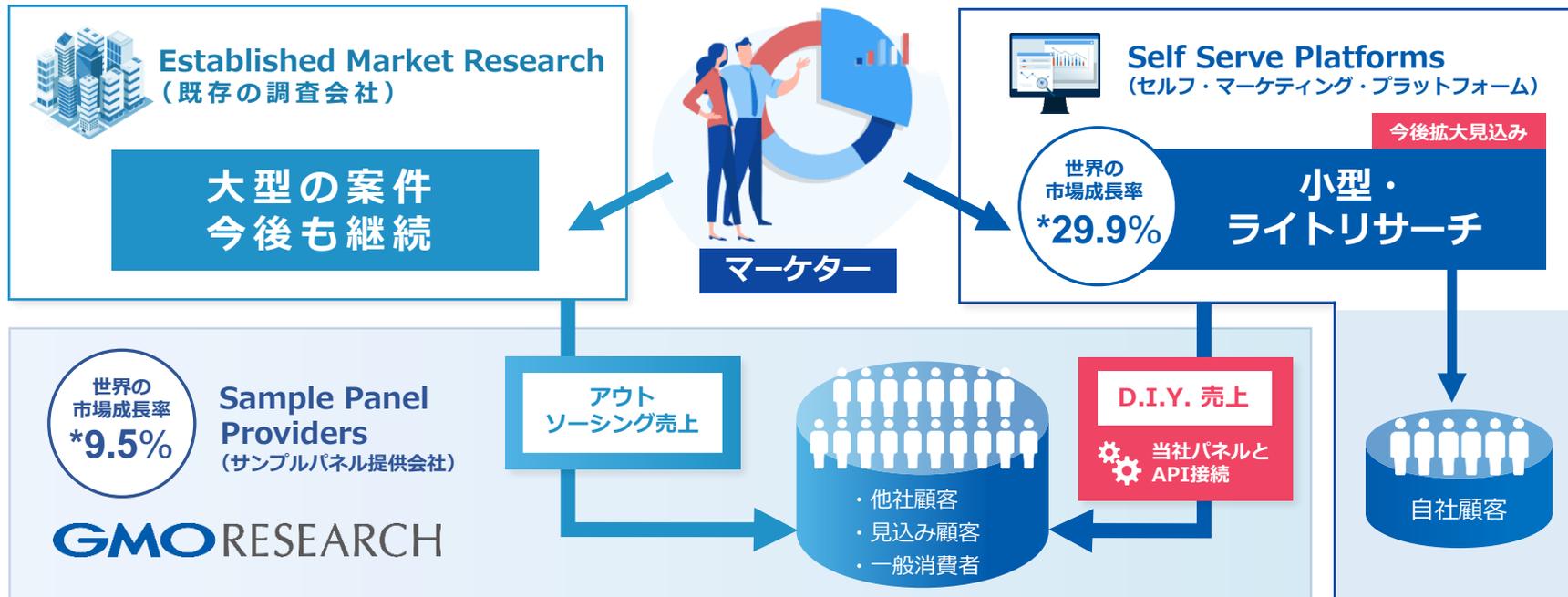


出展: ESOMAR, Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2023

*1 : Serviceable Available Market (SAM, 将来も含めたターゲティングしている市場)
 *2 : Serviceable Obtainable Market (SOM, 現状サービスでアプローチ可能な市場)

2022年事業戦略 | サンプルパネル市場で起きていること

- 既存の調査会社のオンラインパネル運用管理は引き続きアウトソーシング
- マーケターは、手元のツールから手軽にパネル（一般消費者）にライトリサーチ
- ライトリサーチ・プラットフォームはサンプルパネル提供会社とAPIで連携推進



Appendix | 当社フィロソフィー

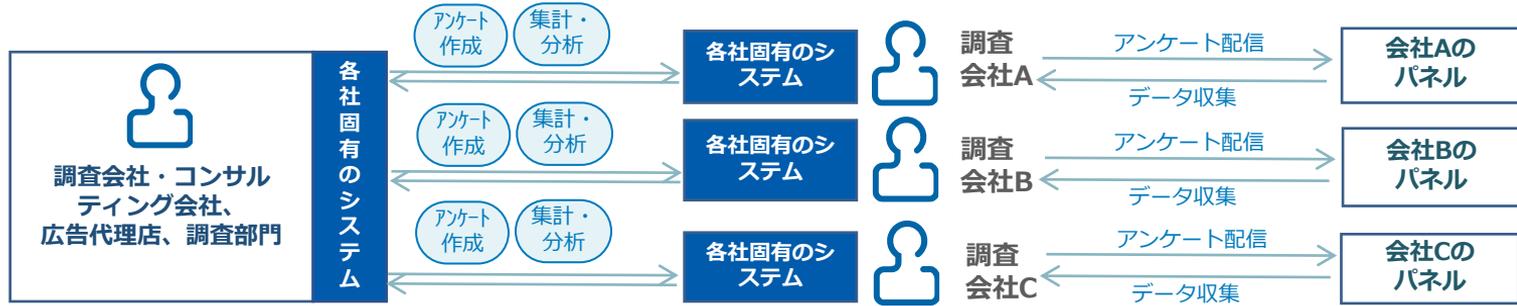
想いを、世界に GMOリサーチ

～私たちは、生活者と企業の「思い」に向き合い
わくわくするアイデアやテクノロジーで「世界」につなぎ、
笑顔・感動の創造に貢献する～

Appendix | ビジネスモデル

- 従来各社ごとに開発されていたインターネットリサーチツールを標準化し、低コストで提供

従来



業界の
業務標準化

標準化



Appendix | サービス別販売先・サービス内容

サービスの名称		サービスの内容
アウトソーシング サービス	Full Service	オンラインのアンケート画面作成、アンケート案内配信、アンケートデータの回収、クリーニング、集計といった一連の工程を一貫して提供するサービスです。「MO Insights byGMO」(*1)はここに含まれます。また、アドテクのプラットフォームと連携した広告業界向けサービス(CPAT)も提供しています。
	Sample Supply	顧客が自社内でオンラインのアンケート画面を作成している場合に、当社グループが回収管理(プロジェクトマネジメント)を行い、顧客のアンケート画面に回答結果を提供するサービスです。
D.I.Yサービス	Self Sample Supply (SSS)	インターネットリサーチにおいて、当社グループがサービスインフラとパネルのみを提供するサービスです。「MO Lite アンケート byGMO」(*2)及び「MO Lite インタビュー byGMO」(*3)が含まれます。
	システム関連売上(*4)	当社グループのリサーチソリューションプラットフォームであるGMO Market Observer(*5)を、顧客のリサーチプラットフォームとして提供するサービスです。
その他サービス	コンベンショナル調査など	コンベンショナル調査は、オフライン(現場)で実施する調査手法です。

*1 MO Insights byGMO
消費者への定量・定性調査をオンラインで完結できるクラウドソリューションです。

*2 MO Lite アンケート byGMO
顧客が利用するDIY型(セルフ型)アンケートツールから、国内・アジア最大級の調査用パネルへのアンケート調査ができるサービスです。

*3 MO Lite インタビュー byGMO
国内・アジア最大級の調査用パネルへのインタビューができる、パッケージ型のオンラインインタビューサービスです。

*4 システム関連売上
D.I.Yサービスのシステム関連売上は、当社グループはシステムのみを提供するビジネスモデルです。

*5 GMO Market Observer
当社グループが開発・提供しているインターネット上でリサーチ業務のすべてを完結できるリサーチソリューションプラットフォームの総称であり、「Market Observer」は当社の登録商標です(登録番号5671869号)。

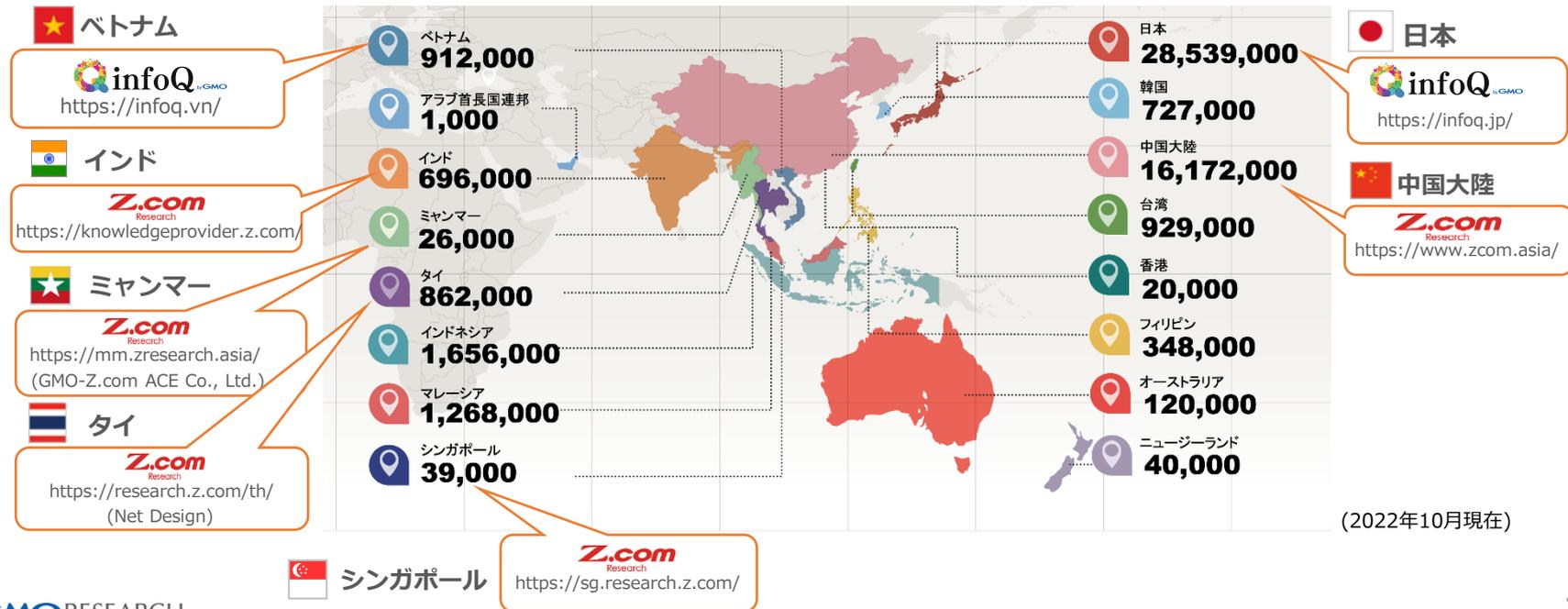
Appendix | アウトソーシング/D.I.Y.サービス

		アウトソーシングサービス		D.I.Y.サービス	
		Full Service	Sample Supply	Self Sample Supply	システム関連 売上
サービス名称 業務工程	1. 調査設計	顧客	顧客	顧客	顧客 (注)
	2. 調査画面 作成	GMO Research	顧客	顧客	
3. プロジェクト マネジメント	GMO Research	GMO Research	顧客		
4. パネル管理	GMO Research	GMO Research	顧客		
5. Cloud Panel 利用	GMO Research	GMO Research	GMO Research		

(注) お客様の中には、当社のCloud Panelをご利用にならない場合もあります。

Appendix | パネルネットワーク

- アジア16の国と地域で5,235万人超の業界最大規模のパネルネットワークを構築
- 大型・複数ヶ国にまたがる案件に対応可能であり、競争力、提案力が高くなる
- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルを質量ともにさらに充実させることで、アジアの調査対応地域の深耕とエリアの拡大を進めます。



Appendix | 各拠点人員数推移

(単位：人)

各拠点における正社員数の推移

	東京	下関	シンガポール	マレーシア	インド	中国	米国	合計
拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> 本社機能 国内欧米営業、PJ管理 国内パネル管理 システム開発 	<ul style="list-style-type: none"> 国内PJ管理、営業補助 国内パネル管理補助 システム開発 その他業務補助 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア営業 東南アジアパネル管理 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 アジアパネル管理、開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米/東南アジアPJ管理、営業補助 ローカル営業 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 PJ管理 中国パネル管理 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 PJ管理 	
2018年1月1日時点	91	8	4	-	16	7	-	126
2018年7月1日時点	94	20	4	4	15	8	-	145
2019年1月1日時点	88	24	3	4	14	8	-	141
2019年7月1日時点	96	30	3	5	14	8	-	156
2020年1月1日時点	97	28	3	6	14	8	-	156
2020年7月1日時点	100	29	3	6	14	5	-	157
2021年1月1日時点	105	29	3	6	15	4	-	162
2021年7月1日時点	109	32	3	9	16	6	-	175
2022年1月1日時点	112	33	3	9	17	6	-	180
2022年7月1日時点	119	34	2	12	16	7	3	193
2023年1月1日見込み	119	39	2	13	18	7	3	201
半期人員増減数	±0	+5	±0	+1	+2	±0	±0	+8
補足	-	営業強化	-	-	オペレーション強化	-	-	-

想いを、世界に — GMOリサーチ

GMO RESEARCH

Engaging people around the world

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。
従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。